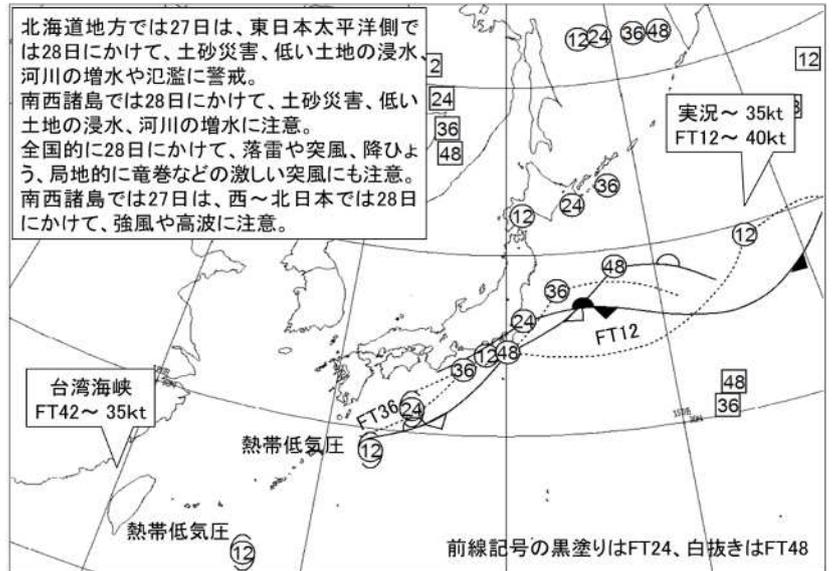


1. 実況上の着目点

- ① 台風第16号から変わった熱帯低気圧が日本の南にあって、ゆっくり西進。また、沖縄の南には熱帯低気圧があって、ほとんど停滞。熱帯低気圧周辺では大気の状態が不安定となっており、先島諸島近海では、1時間に30~70mmの雨量を解析、雷を検知。
- ② 日本の東には低気圧があって、低気圧から西日本太平洋側へ前線がのびている。前線近傍の東日本太平洋側や伊豆諸島では、1時間に30~40mmの雨量を解析、雷を検知。
- ③ 500hPa -15℃の寒気を伴った5700m付近のトラフが沿海州にあって、ゆっくり東進。対応する低気圧が沿海州付近にあって東北東進。低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、北日本では1時間に30~40mmの雨量を解析、雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の熱帯低気圧は、日本の南をゆっくり北東進し、28日朝までに温帯低気圧に変わり、29日には日本の東へ進む。また、27日朝までに1項②の前線上の東海道沖で新たな低気圧が発生し、27日夜にかけて関東の東に進む。東日本太平洋側では、低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。東日本太平洋側では27~28日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ② 1項③の寒気トラフの接近により、北日本では27日朝までに新たに低気圧が発生し、北東進。北陸地方や北日本では、上空の寒気と低気圧周辺の下層暖湿気により、大気の状態が非常に不安定となる。28日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 南西諸島では、1項①の沖縄の南の熱帯低気圧周辺からの下層暖湿気により、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降る所がある。南西諸島では28日にかけて、落雷や突風、短時間強雨に注意。
- ④ 2項①~②の低気圧や2項③の熱帯低気圧周辺では気圧の傾きが大きく、やや強い風や強い風が吹いて、うねりを伴って波が高くなる所がある。南西諸島では27日は、西~北日本では28日にかけて、強風やうねりを伴う高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ①雨量(06時から24時間)：東海 250、伊豆諸島 200、関東甲信 150 mm。
- ②波浪(明日まで)：伊豆諸島 3m。
- ③高潮(明日まで)：東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。